

## みなとみらい本町小学校の生徒たちが、木のストローについて デザインセンターにお願い！

令和2年1月24日に、木のストローの普及活動について、横浜市立みなとみらい本町小学校4年2組の生徒さんが、デザインセンターに協力依頼するため、相談窓口のあるGINNOVATION HUB YOKOHAMA に来てくれました。GINNOVATION HUB YOKOHAMA で小学生がプレゼンするのは初めてです！



4年2組では、環境の取組をクラスのみみんなで進めていて、特にプラスチックについては、便利だけど使いすぎは良くないかもしれないと思い、身近なものでプラスチックから違う素材に変えられるものは何か？と考え、色々調べたりして、木のストローを使うことにたどり着いたそうです。また、学校の近くに横浜港があることから、海洋環境問題の解決につながったり、新しい物づくりにつながるといいなという意見もありました。

開催日時	イベント名	イベント内容	主催者名
1/24(水) 15:00-16:00	子育て世代のクリエイター交流会(ランチタイム)		IID 岡崎さん
1/24(水) 17:00-18:00	小学生による木のストロー活用プレゼン		SDGs 実践センター
1/25(木) 11:30-12:30	市内の子どもMAPをつくろう！新春交流会		G 中野さん
1/25(木) 18:00-19:00	Wine119 街歩きイベント @ Kofuna		216 観光実行委員会
1/27(土) 10:00-11:00	家電生活白化会 @ GYベイク!		

デザインセンターからは「環境が良くなることはなぜ大事だと思う？」「環境活動やストローの活動はだれのために行っているの？」等の質問をしました。これに対して、子どもたちからは、「例えば、ストローを捨てると焼却工場で燃やされるけれど、その灰を埋める場所は減ってきていると聞きました。それならごみは少ない方がいいと思う。」「(プラが)ポイ捨てされると海洋生物に影響が出る」「30年後には海の中の、魚の量とごみの量が同じになっちゃう。これは困る。魚を食べるし。」などの意見や、「環境の活動は地球上のすべての生き物のためです！」という力強い意見が出ました。



最後に、デザインセンターから「みなさんの提案により、市内の企業に木のストローを使ってもらうことが広がっていくのはとてもいいことです。ぜひこれからもみんなが色々考えて実行してほしいし、デザインセンターと一緒にSDGsに取り組んでいきましょう！」と締めくくりました。今後の展開もこの場で報告していきます。